

NISC NEWS

第24号(2009年6月1日発行)

内閣官房情報セキュリティセンター
National Information Security Center (NISC)

目次

1. トピックス 「国産セキュア仮想マシンモニタ(BitVisor)を使ってみました」
2. お知らせ FIRST 年次会合の開催について

1. トピックス

【国産セキュア仮想マシンモニタ(BitVisor)を使ってみました】

国産セキュア仮想マシンモニタ(BitVisor)は、Windows や Linux 等の既存のユーザ環境を保持しつつ、通信路の保護や内蔵ハードディスクの暗号化を行うことで、情報漏洩などのセキュリティ問題に対処する仮想的なマシン環境です。

平成 18 年度科学技術振興調整費の重要課題解決型研究として採択された「高セキュリティ機能を実現する次世代 OS 環境の開発」により、産学官の複数の研究機関の総合的な推進体制の下で開発が進められました。

詳しくは次をご参照ください。

【開発着手時の報道資料】 <http://www.nisc.go.jp/press/pdf/securevm.pdf>

本ソフトウェアは、オープンソースとして公開されており、現在、最新版として BitVisor 1.0 がリリースされています。

【セキュア VM プロジェクトのホームページ】 <http://www.securevm.org/>

NISC では、BitVisor1.0 をインストールした数台の PC を用意し、実際の業務での利用を想定した試用を行っています。

BitVisor1.0 上での Windows XP と、通常の Windows XP (BitVisor1.0 無し) を比較した感想ですが、PC のパフォーマンスには思ったほどの影響はないように思いました。

他方、現時点ではドキュメントがそれほど整備されていないので、独力のみで環境を構築し、色々な動作確認をするのは、なかなかハードルが高いと感じました。

今後は、NISC 内での試用を通じて運用上の課題の整理を行い、政府機関の一般業務への導入検討を進めていく予定です。

2. お知らせ

【FIRST 年次会合の開催について】

日本で初めて開催される FIRST カンファレンスであり、「余波：インシデント復旧の技術

と教訓」をテーマに、世界各国から集結する専門家やセキュリティ対応チームが、災害復旧から学ぶインシデント対応などについて議論を深めます。

本カンファレンスは、情報セキュリティ政策会議による後援を受けており、内閣官房情報セキュリティセンターも政府機関の代表メンバーとして参加する予定となっています。

山口英内閣官房情報セキュリティ補佐官による基調講演も予定されています。

なお、本カンファレンスは、FIRST メンバー以外の方々もご参加いただけます。

開催日時： 2009年6月28日(日)～7月3日(金)

会場： ホテルグランヴィア京都

詳しくは次をご参照ください。

【ABOUT THE CONFERENCE】<http://conference.first.org/>

このメールは等幅フォントでご覧頂くことを推奨します

.....
pdf 版はこちら

<http://www.nisc.go.jp/nisc-news/0024/news0024.pdf>

.....
配信先の変更、配信の中止等はこちら

<http://www.nisc.go.jp/nisc-news/>

.....
ご意見や感想はこちらから

(本メールに直接返信を頂いても、こちらには届きませんので
ご注意ください。)

<http://www.nisc.go.jp/mail.html>

.....
Copyright (c) 2009 NISC All rights reserved.

掲載内容の無断転載を禁じます。